

新庁舎整備事業市民説明会 2021  
意見交換結果概要（11月10日蜂屋地区開催分）

○日 時 令和3年11月10日（水）午後7時～8時30分

○会 場 蜂屋交流センター

○出席者 19人（参加市民）

○内 容

□【質問・意見・提案等】

⇒【回答】

□木沢記念病院が駐車場を考慮して北方面に移転したことについてどう思うか。

⇒当市には市民病院が無いなか、市民の命を守る拠点として整備していただけたこととは大変ありがたい。

□美濃太田駅南に新庁舎を整備した場合、駐車場を分散して整備するのか。

⇒市街地再開発事業などとあわせて道路整備が進むなかで、新庁舎に隣接した用地を一部取得して来庁者用駐車場として整備したい。

□市民投票や住民投票を行わない理由は。

⇒議員のみなさんと議論を深め、議会で決定いただくことが重要である。ただ、それを決める時に一番大切なことは、市民のみなさんに理解していただくことであり、今回も20回の説明会を開催しているが、ご理解いただけるように努力していきたい。

□浸水時にペDESTリアンデッキを利用して水平避難することは無理では。

⇒浸水の深さが10mになってから移動するのではなく、浸水の恐れがあるとき、事前避難に活用したい。

□美濃太田駅の北側にも駐車場を検討してほしい。

⇒多くの駐車台数を確保できるようにしていく。シティホテルの南側の土地を取得して駐車場として整備することを考えているが、駅北側においても現在のシティホテル駐車場を整備して来庁者用駐車場として活用したい。

□職員駐車場を借りることにより、将来の世代に費用負担の影響があるのでは。

⇒職員駐車場は、現在使用している駐車場を引き続き使用する。コスト比較においては借用費用を含んでいる。財政負担の軽減は大切であり、いかに費用を使わないで新庁舎を整備するかを考え、将来の子ども達や孫たちに新庁舎が整備されてよかった、と評価してもらえるようなものをつくりたい。

□太田の街は浸水したことがあり、川の増水や浸水が心配である。

⇒新丸山ダムの建設、ダムの事前放流等により木曾川の水位をできる限り下げる取り組みが進んでいるが、住民の事前避難が最も大切である。

□少人数で行う今回の説明会により市民に説明したとするのか。

⇒説明会終了後も出前講座など様々な方法で市民に説明していく。

□異常気象の中で水害はすぐ起きるかもしれない、今の整備地の計画は根本的に考え直すべきである。

⇒1000年に一度と想定される浸水害は明日発生するかもしれない、という思いで浸水対応型の新庁舎を整備していく。

□市商業ビルの機能を維持する30年間の維持管理費として30億8000万円が美濃太田駅周辺を除く他の3候補地にかかるのはおかしいと思う。

⇒3つの候補地（現庁舎周辺・駅北スーパー周辺・前平公園周辺）に新庁舎を整備する場合は、商業ビルはそのまま活用していくという考え方である。（商業ビルのコンベンション機能は美濃太田駅前に必要であるという共通の前提条件の認識から）駅周辺に整備する場合は、商業ビルを解体するため維持管理費はかからない。

□駅前再開発事業で整備する商業ビルの中に図書館ができるのか。

⇒図書館が入居することは決まっていない。

□水害の恐れがある時に緊急車両を前平に移動させるのなら、前平公園周辺に可茂消防（中消防署）を建設し、そこに市の防災安全課を配置すれば良い。

⇒（可茂消防事務組合管理者として）可茂消防事務組合では、深田町にある消防本部などを移転するという計画はあるが、今後検討していきたい。

□現庁舎南の駐車場に新庁舎を整備することは9.28災害を経験し、現庁舎周辺で消防団員として救助活動した経験からありえない。

⇒9.28災害時に浸水を経験された方からすると、現庁舎の場所は新庁舎の整備地として適切ではないという意見が多くあることを承知している。

□雨水排水管が商業ビルの下を通っているが、加茂川に流れていくのか。

⇒駅南の駅前広場と商業ビルの前の道路に雨水の幹線があり、加茂川へ流れていく。また、商業ビルよりも少し南へいくと、木曾川へ流れるように雨水を処理する雨水管がある。

□シティホテルを壊すのは、今まで守ってきた人の想いを踏みにじることにもなる。

□建設的な論争により新庁舎整備事業を一步一步進めてもらいたい。